(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供:新潟県アスファルト合材協会

新潟県における平成30年度1月~3月期の出荷状況は、県全体で176千t・前年同期比8%増となり13千t上回った。昨年に比べ降雪の影響が少なく天候に恵まれ工事が順調に進捗した事が、要因である。一昨年対比では2%減となるので、出荷量自体は増加していない。

る。一昨年対比では2%減となるので、出荷量自体は増加していない。 地区別では、上越地区が22 千 t・前年同期比10%増で2 千 t 増、中越地区が29 千 t・前年同期比12%増で3 千 t 増、下越地区が118 千 t・前年同期比5%増で6 千 t 増、佐渡地区が7 千 t・前年同期比40%増で2 千 t 増となった。中越地区は漸く今期分が前年同期を上回ることができ、全地区で前年対比が増となった。

第1四半期の動向は、地元自治体の発注予定はあるものの民間舗装工事はやや低調に推移するとみられ、大型工事の施工は後半に予定されることから、前年並みの出荷状況を見込む。また、1月~3月期に落ち着いたアスファルト価格が再び上昇傾向にあり、工場運営は厳しい状況が予想される。

富山県

記事提供: 富山県アスファルト合材協会

富山県における平成30年度1月~3月期、出荷状況は、県計で8万7千tで前年同期と比べ14%の増となった。地区別でみると東部地区が5万tで14%の増となった。西部地区が3万7千tで16%の増となった。県内全域で、高速道路の修繕工事への出荷があった為、昨年より増となった。

石川県

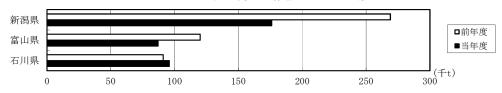
記事提供:石川県アスファルト合材協会

石川県における平成30年度1月~3月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比1.7%増、能登地区で前年比2.6%減、石川県全体では前年比0.7%増となった。

年間合計では加賀地区が 6.6%の増、能登地区が 11.3%の増となり、石川県全体では 7.7%の増となったが、昨年度に続き今年度も石川県全体の出荷量が 45万トンを下回っており依然として厳しい状況が続いている。

今年度もアスファルト関連については大きな物件も少なく、加えて主要材料であるアスファルトは一時価格下降傾向の時期があったものの再び価格上昇の様相となっており、今後も厳しい状況が予想される。

アスファルト合材出荷量の推移(1月~3期)



(単位: 千t、%)

県	地区	平成29年度	平成30年度				
示	ル ム	年 計	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	累計
	上越	16	16	100	25	10	42
		185	52	102	86	22	262
新	中 越	▲ 11	▲ 10	▲ 15	▲ 13	12	▲ 11
121	,	325	72	85	104	29	290
潟	下 越	▲ 2	9	▲ 1	8	5	5
11.5	1 2	571	151	147	185	118	601
県	佐 渡	▲ 8	17	▲ 43	33	40	8
211	11 1/2	24	7	4	8	7	26
	県 計	▲ 7	5	10	5	8	7
	N 11	1, 105	282	338	383	176	1, 179
富	東部	▲ 12	▲22	▲ 13	0	14	▲ 7
ш	Ж пр	250	49	58	76	50	233
山	西部	▲ 1	▲26	▲28	16	16	▲ 9
124	पा छ	206	42	43	66	37	188
県	県 計	▲ 7	▲24	▲20	7	14	▲ 8
211	乔 印	456	91	101	142	87	421
石	加賀	▲ 8	15	▲ 6	15	2	7
70	加貝	323	82	78	110	74	344
ЛП	能 登	登 ▲11	27	▲29	55	▲ 3	11
711	北 笠	92	25	19	37	22	102
県	(⊟ ⇒1	▲ 9	17	▲ 12	23	1	8
乐	県 計	415	107	97	147	96	447

(注)・上段は前年同期との比較

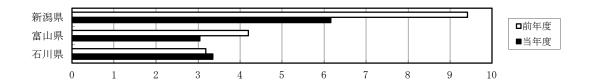
集計は、新潟県今日 20 社のされ 20

富山県石川県

会員 32 社のうち 32 社 会員 14 社のうち 14 社 会員 18 社のうち 12 工場分

◎参 考 資 料

アスファルト出荷量の推移(1月~3月期)



(単位:千t、%)

ΙĦ	니서 F.	5	平成29年度	平成30年度				
県	地	区	年 計	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	累計
	上	越	16	16	100	25	10	42
			6. 5	1.8	3. 6	3.0	0.8	9. 2
新	中	越	▲ 11	▲ 10	▲ 15	▲ 13	12	▲ 11
701	·		11. 4	2. 5	3.0	3.6	1.0	10. 2
潟	下	越	A 2	9	▲ 1	8	5	5
			20. 0	5. 3	5. 1	6. 5	4.1	21. 0
県	佐	渡	▲ 8	17	▲ 43	33	40	8
	,		0.8	0. 2	0.1	0.3	0.2	0.9
	県	計	▲ 7	5	10	5	8	7
	/11	н	38. 7	9. 9	11. 8	13. 4	6.2	41.3
富	東	部	▲ 12	▲22	▲ 13	0	14	▲ 7
ш	//		8.8	1. 7	2.0	2.7	1.8	8.2
山	西	部	▲ 1	▲26	▲28	16	16	▲ 9
ш			7. 2	1. 5	1.5	2.3	1.3	6.6
県	県	計	▲ 7	▲ 24	▲20	7	14	▲ 8
∠ \	211	μΙ	16.0	3. 2	3.5	5.0	3.0	14. 7
石	加	賀	▲ 8	15	▲ 6	15	2	7
7 H	///		11. 3	2. 9	2.7	3.8	2.6	12.1
Л	能	登	▲ 11	27	▲29	55	▲ 3	11
/'1	HE		3. 2	0. 9	0.7	1.3	0.8	3.6
県	県	計	▲ 9	17	▲ 12	23	1	8
不	坏	рΙ	14. 5	3. 7	3.4	5. 1	3.4	15.6

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量「アスファルト出荷量(千t)=アスファルト合材量(千t)×3.5%」